

平成25年第11回 大山町教育委員会 議事録

日 時 : 平成25年8月27日 (火)

午後1時30分～

場 所 : 名和公民館 第1会議室

| | | | | | | |
|------|----|------|----|------|----|------|
| 出席委員 | 1番 | 小原康正 | 2番 | 金田吉人 | 3番 | 湊谷紀子 |
| | 4番 | 林原浩子 | 5番 | 山根 浩 | 6番 | 伊澤百子 |

その他の 教育次長 (齋藤)、幼児教育課長 (林原)、社会教育課長 (手島)、
出席者 学校教育課 課長補佐 (井上、佐藤)

参 観 人 2人

日 程

1. 開会宣言 (午後1時30分)

委員長 会議時間の決定ですが、1時30分より終了目標を2時50分としたい。

2. 議事日程の報告

日程第1 会議時間の決定

自 午後1時30分 至 午後2時50分

日程第2 教育長報告並びに連絡事項

教育長 7月6日～8月27日までの報告事項、8月30日までの今後の予定について説明。

- 14日には全日本トリアスロン皆生大会が行われた。
- 21日は参議院議員選挙投票日であった。
- 22日には第38回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会開催地実行委員会が米子市であり、約2千人の参加があった。
- 24日には西伯郡小学校水泳大会が日吉津村で行われた。
- 28日には大山口列車空襲慰霊祭並びに平和祈念の集いが行われた。大山町は鳥取県唯一の戦災があった場所。慰霊祭等がここまで続いていることに敬意を表する。
- 8月2日には人権・同和教育推進協議会研修で浜田の刑務所に行ってきた。ここは民間が運営しており、前科一犯の方が社会復帰に向けて頑張っておられた。約2千名が収容されていた。
- 8日には西部地区教育長・小中学校長連絡協議会があり、それぞれの課題がでてきた。

- 12日には大山町初任者研修を行い、寺子屋、夕陽の丘神田、中山みどりの森保育園、役場議場を見学した。
- 16日には西部地区市町村教育長会があり、教育委員会制度、土曜授業等について検討をした。
- 23日には名和地区拠点保育所名称選定委員会が開催され、名和さくらの丘保育園と名称が決定した。
- 25日には大山クロスカントリー大会が行われた。
- 26日には名和地区拠点保育所安全祈願祭が行われた。

日程第3 教育委員会制度改革について

- 委員長 事務局よりご説明をお願いしたい。
- 教育次長 教育委員会制度改革について説明。
- 委員 教育委員は非常勤であり、迅速に的確な対応ができない。今の体制では無理があるため、教育長が対応するのがいいと思う。非常勤の委員長では、責任がとれないと思う。
- 委員長 議会答弁にしても、非常勤の委員長と常勤の教育長と情報量も違うので、教育長が答弁をする方がいいのではないか。
- 教育長 議会の答弁は議会規則で決まっている。合併前は、名和、大山が教育長で、中山が委員長であった。合併後に今の体制となっている。
- 委員長 非常勤の教育委員では大きなトラブルに関しては対応ができないので、日々常勤の教育長に責任があればいいという意見だが。
- 委員 基本的に権限と責任体制だと思うが、今の実態の中では、特に住民には議会での答弁を見ると委員長が責任をもっていると思われる。議会の規則を変えていく必要がある。また、逆に一人の人に権限が集中していいのかと考えると非常に危険なことだと思う。よりよい大きな方向性を出し、教育委員会制度を充実していく必要がある。一貫性、中立性からいっても教育の部門では首長が責任者となるのは危険である。
- 委員 多少対応が遅れたとしても多くの場合、より慎重に物事を進めていくために一人で裁定をくださりよりも教育委員の道義性があつたほうがよい。

3. その他

4. 次回の開催日程 平成25年9月25日 午後1時30分～

5. 閉会宣言（午後2時52分）